

## 北海道支部

### 北海道における農業経営体の経営能力向上に関する調査研究

本報告書は、農業経営体の経営能力の向上に向けて、中小企業診断士が貢献可能な、または支援が必要な分野・項目を農業者やその支援機関などへの聞き取り調査やアンケートデータを交え、明らかにしていくものである。

本報告書は、本編（第1章～5章）と、付属資料編（データ集計等）の2部構成となっている。

第1章では、農業生産額、耕地面積、生産農業所得などで他府県をリードする北海道農業だが、農家戸数や農業就業人口の減少に歯止めがかからずさらなる大規模化を進める必要に迫られている状況、6次化への取組みについて説明する。

第2章では、農業生産法人の経営診断や経営支援を行う中小企業診断士に対し聞き取り調査を実施した。その内容を法人事例ごとに説明する。「営業利益は赤字だが、補助金が算入され経常利益は黒字」「社会保険は未加入」「原価管理がなされていない」などが多くの生産法人の現状である。また経営課題については、経営理念・ビジョンの策定、経営計画の策定、経営の可視化、生産性の向上、後継者の育成などがあげられている。

第3章では、JAや農業改良普及センター、役場など農業者支援機関からみた農業経営の現状と経営課題について説明する。とくに規模拡大や法人化を果たした農業経営体においては、生産者よりも経営者としての資質やマネジメントが強く求められている。だが、経営者は誰に相談すべきかわからないといった声も少なくなく、他の支援ニーズも含め中小企業診断士に対する期待は大きい。

第4章では、農業者支援機関および農業生産法人に対し実施したアンケートデータをもとに、支援機関や生産法人が考える関心の高い分野や選択の傾向を、相関係数や因子分析を使って説明する。全体としては、「育成と組織」「決算書と経営」「原価計算」「投資と資金管理」に高い関心があり、逆に「商談と契約」「直売所」「ネット通販」などには関心が低いことが判明した。因子分析では、積極多角化と本業重視で評価の違いが顕著にあらわれるなど、面白い傾向が出ている。

最終章の第5章では、中小企業診断士の視点から北海道農業について考えること、調査から見てきたことについて説明する。

付属資料編は、ヒアリング記録やアンケート集計表のほか、経営能力向上に資する研修の具体案として、「組織作りのポイント」「雇用に伴い必要となる労務環境」「設備投資と上手な資金管理の方法」など、カリキュラムを6例ほど掲載している。